



# 「公共施設に関するアンケート」について

## 5 主なアンケート結果 ※詳細は別添参照

- P1の4（2）及び（3）について、4区共通の設問であることから、**4区合計と区ごとの状況**を把握。
- P1の4（3）については、今後施設の使い方を考える上で重要な設問と考えられることから、**年代別の状況**も把握。

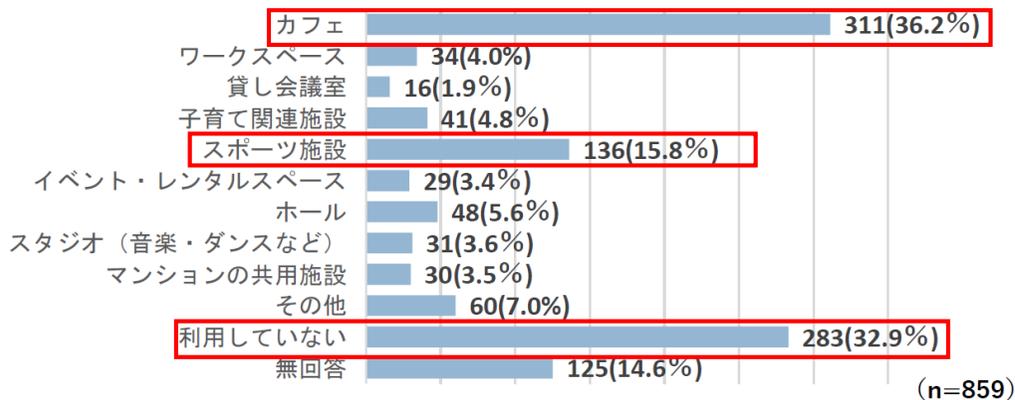
### 【地域にある本市の施設以外で、普段よく行く場所】（P1の4（2））

- 4区合計では、「カフェ」が最も多く、2番目が「利用していない」、3番目が「スポーツ施設」。
- 区ごとでは、幸区は「利用していない」が最多。

川崎区、幸区、高津区、麻生区の4区の合計

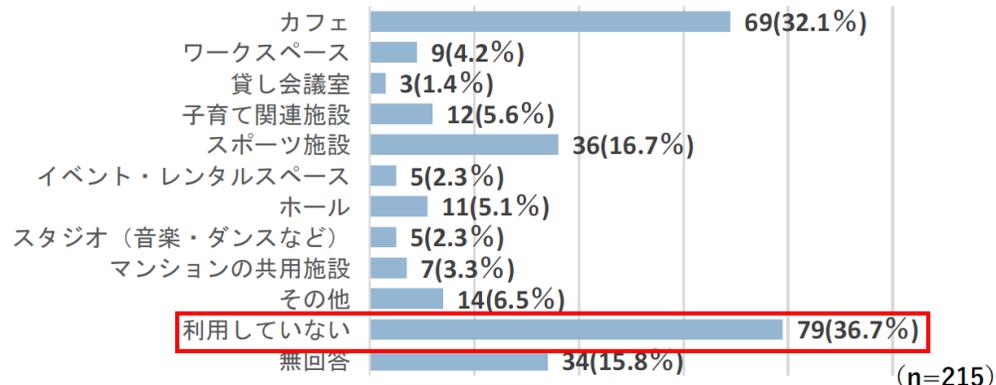
普段、よく行く場所

0 50 100 150 200 250 300 350 (人)



幸区 普段、よく行く場所

0 20 40 60 80 100 (人)



# 「公共施設に関するアンケート」について

## 5 主なアンケート結果 ※詳細は別添参照

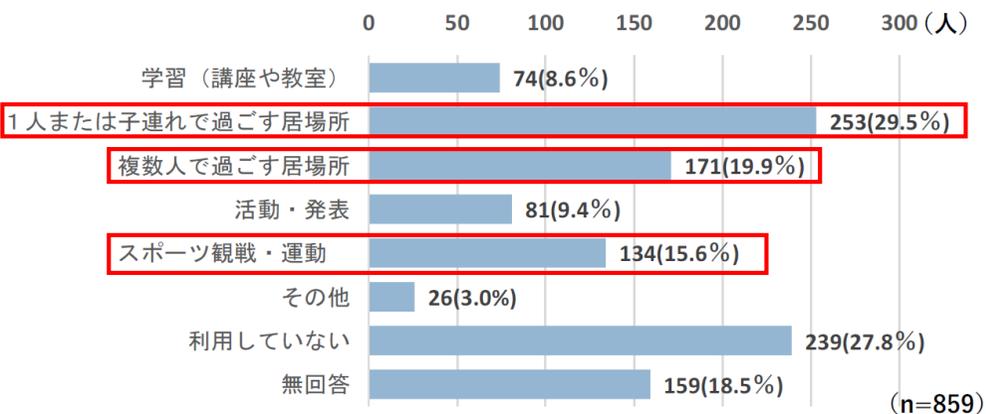
- P1の4（2）及び（3）について、4区共通の設問であることから、**4区合計と区ごとの状況を把握。**
- P1の4（3）については、今後施設の使い方を考える上で重要な設問と考えられることから、**年代別の状況も把握。**

### 【「地域にある公共施設以外で、普段よく行く場所」での過ごし方】（P1の4（2））

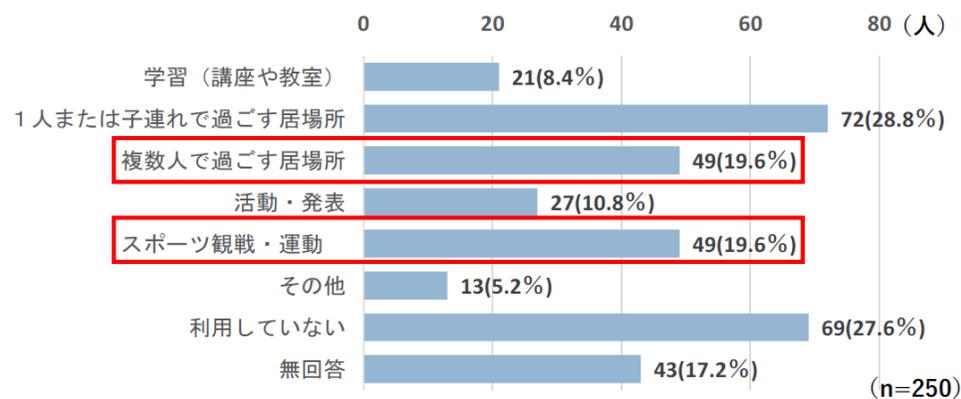
- 「利用していない」を除くと、4区合計では「1人または子連れで過ごす場所」が最も多く、2番目が「複数人で過ごす場所」、3番目が「スポーツ観戦・運動」。
- 区ごとでは、麻生区は「複数人で過ごす場所」と「スポーツ観戦・運動」が同数。

川崎区、幸区、高津区、麻生区の4区の合計

よく行く場所での過ごし方



麻生区 よく行く場所での過ごし方



# 「公共施設に関するアンケート」について

## 5 主なアンケート結果 ※詳細は別添参照

- P1の4（2）及び（3）について、4区共通の設問であることから、4区合計と区ごとの状況を把握。
- P1の4（3）については、今後施設の使い方を考える上で重要な設問と考えられることから、年代別の状況も把握。

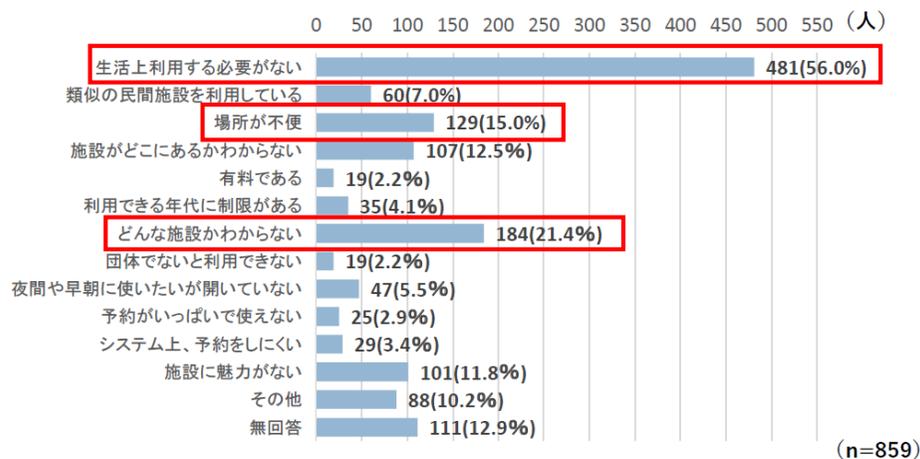
### 【施設をほとんど利用していない・または利用しない理由】（P1の4（3）） （全年代の状況）

- 4区合計では「生活上利用する必要がない」は過半数、2番目が「どんな施設がわからない」、3番目が「場所が不便」。
- 区ごとでは、幸区は「場所が不便」が2番目、麻生区は「施設に魅力がない」と「場所が不便」が同数で3番目。

川崎区、幸区、高津区、麻生区の4区の合計

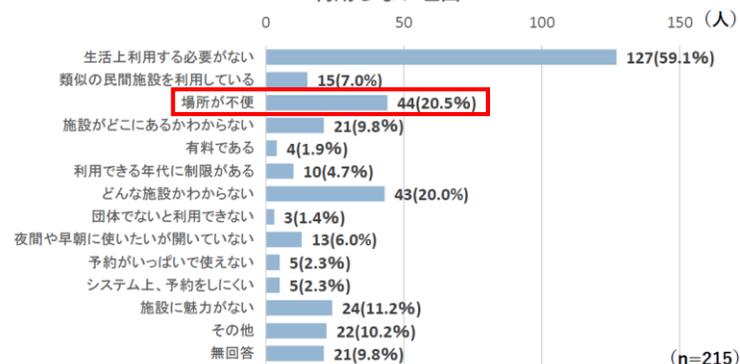
施設をほとんど利用していない理由、

利用しない理由



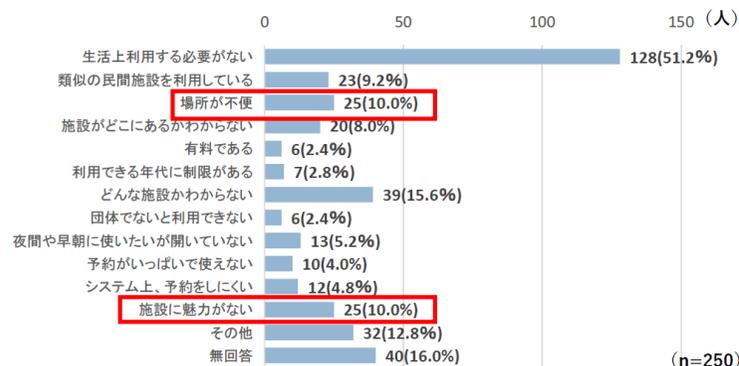
幸区 施設をほとんど利用していない理由、

利用しない理由



麻生区 施設をほとんど利用していない理由、

利用しない理由



# 「公共施設に関するアンケート」について

## 5 主なアンケート結果 ※詳細は別添参照

- P1の4（2）及び（3）について、4区共通の設問であることから、4区合計と区ごとの状況を把握。
- P1の4（3）については、今後施設の使い方を考える上で重要な設問と考えられることから、年代別の状況も把握。

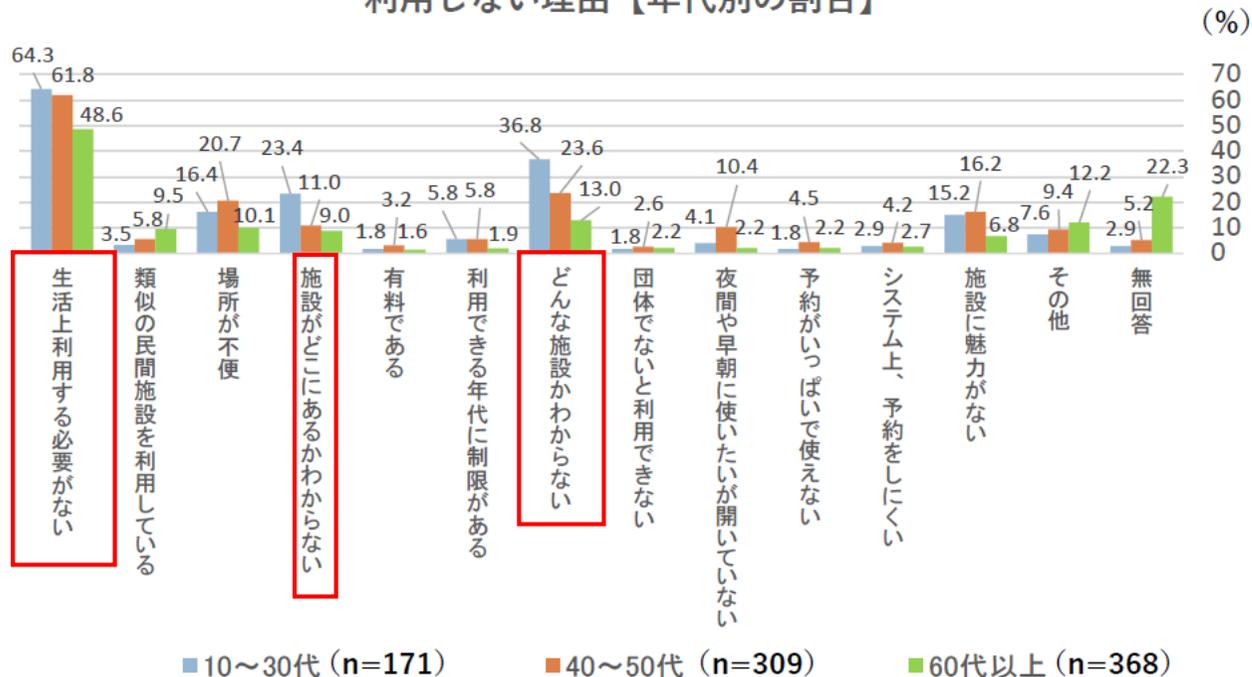
### 【施設をほとんど利用していない・または利用しない理由】（P1の4（3））

#### （年代別の状況）※4区合計

- 「生活上利用する必要がない」「施設がどこにあるかわからない」「どんな施設かわからない」の割合は、年代が下がるほど高くなっている。
- 10～30代では、「施設がどこにあるかわからない」が「場所が不便」を上回り3番目に大きい。

#### 川崎区、幸区、高津区、麻生区の4区の合計【年代別の割合】

#### 施設をほとんど利用していない理由、 利用しない理由【年代別の割合】



# 「公共施設に関するアンケート」について

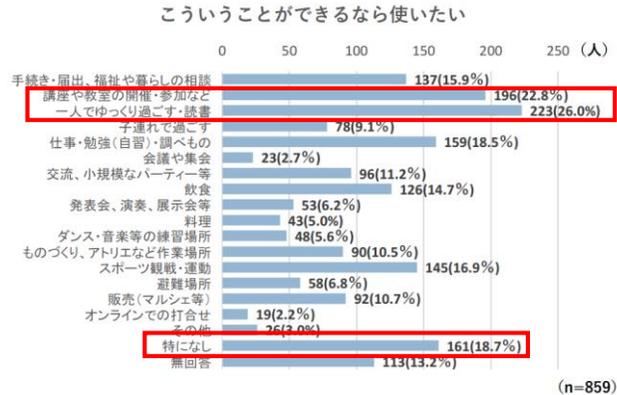
## 5 主なアンケート結果 ※詳細は別添参照

- P1の4（2）及び（3）について、4区共通の設問であることから、4区合計と区ごとの状況を把握。
- P1の4（3）については、今後施設の使い方を考える上で重要な設問と考えられることから、年代別の状況も把握。

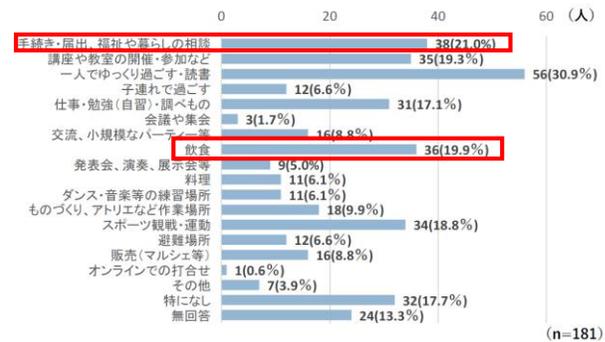
### 【利用していない施設でこういうことができるなら使いたいということ】（P1の4（3）） （全年代の状況）

- 4区合計では「一人でゆっくり過ごす・読書」が1番目、2番目が「講座や教室の開催・参加など」、3番目が「特になし」。
- 川崎区では「手続き・届出、福祉や暮らしの相談」が2番目、「飲食」が3番目、高津区では「手続き・届出、福祉や暮らしの相談」が3番目、麻生区では「特になし」が1番目。

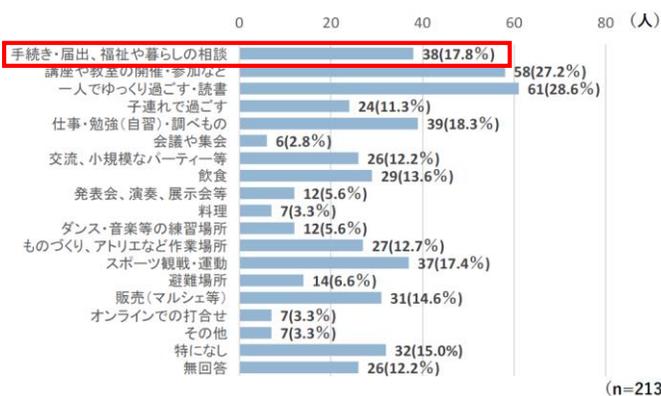
川崎区、幸区、高津区、麻生区の4区の合計



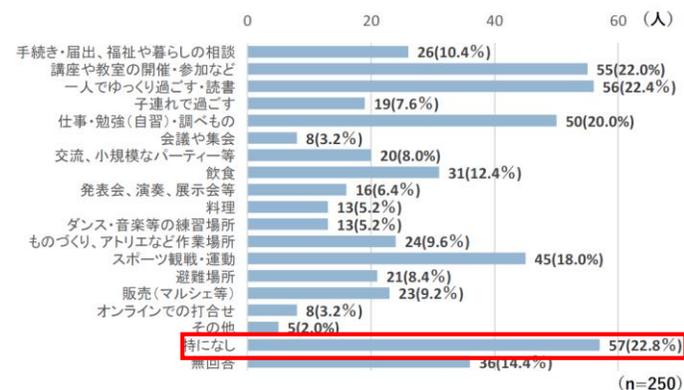
川崎区 こういうことができるなら使いたい



高津区 こういうことができるなら使いたい



麻生区 こういうことができるなら使いたい



# 「公共施設に関するアンケート」について

## 5 主なアンケート結果 ※詳細は別添参照

- P1の4（2）及び（3）について、4区共通の設問であることから、4区合計と区ごとの状況を把握。
- P1の4（3）については、今後施設の使い方を考える上で重要な設問と考えられることから、年代別の状況も把握。

### 【利用していない施設でこういうことができるなら使いたいということ】（P1の4（3））

#### （年代別の状況）※4区合計

- 「講座や教室の開催・参加など」は40～50代、60代以上の割合が10～30代よりも大きい。
- 「一人でゆっくり過ごす・読書」は10～30代、40～50代の割合が60代以上の割合の2倍上となっている。
- 年代が下がるほど、「子連れで過ごす」「仕事・勉強（自習）・調べもの」の割合が顕著に大きくなっている。
- 年代が上がるほど、「特になし」の割合が大きくなっている。

#### 川崎区、幸区、高津区、麻生区の4区の合計【年代別の割合】

#### こういうことができるなら使いたい【年代別の割合】

